

専門分野Ⅱ 小児看護学 授業計画

授業科目及び時間数	小児看護Ⅳ 2単位 30時間		
開講時期	2年次 後期		
担当教員	芝口由美子 藤林真紀 杉崎好美 高津かよ子 加藤水希	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>本科目は、健康障害を持つ小児と家族が生活・療養するために必要な看護の知識と安全・安楽な技術を学ぶことがねらいである。</p> <p>この科目では、健康障害の様々な病期や環境における子どもと家族を理解し、看護展開ができる基礎的能力を身につけることを目標としている。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 病気・障害を持つ子どもと家族の看護 1) 病気・障害が子どもと家族に与える影響 2) 子どもの健康問題と看護	講義	(芝口)
2回目	1. 急性期にある子どもと家族の看護 1) 急性期の特徴と子どもと家族の看護	講義	(藤林)
3回目	1. 周手術期の子どもと家族の看護 1) 周手術期の特徴と子どもと家族の看護	講義	(藤林)
4回目	1. 検査・処置を受ける子どもの看護 1) 子どもにとっての検査・処置体験 2) 様々な検査・処置を受ける子どもの看護	講義	(藤林)
5回目	1. ハイリスク新生児と家族の看護 1) 低出生体重児の看護 2) 高ビリルビン血症の新生児の看護	講義	(杉崎)
6回目	1. 慢性期にある子どもと家族の看護 1) 慢性期の特徴と子どもと家族の看護	講義	(芝口)
7回目	1. 障害のある子どもと家族の看護 1) 障害のある子どもと家族の特徴 2) 障害のある子どもと家族の社会的支援	講義	(高津)
8回目	1. 終末期の子どもと家族の看護 1) 終末期の特徴と子どもと家族の看護	講義	(加藤)
9回目	1. 子どもの状況（環境）における看護 1) 外来・入院中・在宅・災害時の子どもと家族の看護	講義	(芝口)
10回目	1. 子どもの虐待と看護 1) 子どもの虐待の状況と求められるケア	講義	(芝口)
11回目	1. 小児の看護過程① 1) 情報収集	講義	(芝口)
12回目	1. 小児の看護過程② 1) 全体関連図	講義・グループワーク	(芝口)
13回目	1. 小児の看護過程③ 1) 看護問題の明確化	講義・グループワーク	(芝口)
14回目	1. 小児の看護過程④ 1) 看護計画	講義・グループワーク	(芝口)
15回目	終了試験	芝口	
評価方法	筆記試験 80% 課題学習 20%		
受講生に対するメッセージ	この科目は、臨床の看護師の力を借りて病気や障害のある子どもと家族の看護を学びます。教科書上の知識だけでなく、臨床でのリアルな話が聞けます。また、看護過程は、課題学習が多いですが、3年次の実習に繋がるので頑張りましょう。		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院 根拠と事故防止からみた小児看護技術 発達段階からみた小児看護過程		
参考書			